

記者発表資料
 平成23年5月25日
 畜産課(草地飼料班)
 担当 山田, 佐々木
 内線 2852

宮城県内の牧草の放射能測定結果に基づく対応について

今回、第2回目の結果を受けて、引き続き、県内全域の乳用牛・肥育牛への牧草の給与及び放牧の自粛を継続しております。

なお、原乳など農林畜産物は、3月下旬から東北大学の協力を得て放射能測定を定期的
に実施していますが、飲食制限に関する指標値を全て大幅に下回っており、安全性に問題
はありません。

1 県の対応について

- (1) 測定結果を踏まえ、別紙のとおり周知しました。
- (2) 今後、引き続き、調査地点を増やし、モニタリング調査を行います。また、その調査結果を踏まえ、自粛要請の地域解除についても検討していきます。
- (3) 損害賠償請求に備えて、飼料生産に係る作業日誌や代替飼料の購入伝票等の損害が証明できる資料の保管について周知しました。

2 測定結果について

(1) 採取日

平成23年5月18日(水)、19日(木)

(2) 測定依頼機関

独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC) 埼玉県さいたま市

(3) 測定結果

(単位:ベクレル/kg)

採取場所	放射能ヨウ素				放射能セシウム			
	前回		今回		前回		今回	
	採取日	測定値	採取日	測定値	採取日	測定値	採取日	測定値
丸森町	5/11	40	5/18	不検出	5/11	1,520	5/18	980
七ヶ宿町	-	-	5/18	不検出	-	-	5/18	1,770
仙台市	5/11	10	-	-	5/11	120	-	-
大崎市	5/11	不検出	5/19	不検出	5/11	350	5/19	250
栗原市	-	-	5/18	不検出	-	-	5/18	530

※前回公表値について、四捨五入の関係で、値が一部変更となっております。

参考：粗飼料中の放射性物質の目安（農林水産省設定値）

(単位:ベクレル/kg)

畜種	放射性物質	放射性ヨウ素	放射性セシウム
乳用牛(経産牛及び初回交配以降の牛)		70	300
肥育牛(15ヶ月程度以内に出荷される牛)	農産物で出荷制限が行われていない地域で生産された粗飼料		300
上記以外の牛			5,000

※牛乳や牛肉を安全に生産するための目安です。

(参考URL http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/c_minasama_2.html)